

【ご参考】

下記は 2025 年 7 月 15 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。
原文リリースは[こちら](#)からご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2025 年第 2 四半期決算を発表

2025 年第 2 四半期:純利益 150 億ドル (EPS 5.24ドル)

特殊要因を除くと純利益 142 億ドル(EPS 4.96ドル)

- 株主資本利益率(ROE)18%、有形自己資本利益率(ROTCE)²21%
- 普通株式等 Tier1 比率³ 標準的手法 15.0% 先進的手法 15.1% 総損失吸収力 (TLAC)³ 5,600 億ドル
- Std. RWA (リスクアセット標準的手法)³ 1.9 兆ドル、手元流動性⁴1.5 兆ドル、期中平均ローン残高 1.4 兆ドル

2025 年第 2 四半期(以下、当期)の業績概要¹

会社全体

- 当期収益は 449 億ドル、管理ベースでは 457 億ドル²
- 当期費用は 238 億ドル、オーバーヘッド比率は 53%、管理ベースオーバーヘッド比率²は 52%
- クレジットコストは 28 億ドル(24 億ドルの貸倒償却および 4.39 億ドルの貸倒引当金繰入を含む)
- 期中平均ローン残高は前年比 5%増、前四半期比 3%増、期中平均預金残高は前年比 6%増、前四半期比 3%増

CCB：コンシューマー&コミュニティ・バンキング(当期 ROE: 36%)

- 期中平均預金残高は前年比 1%減、前四半期比 1%増、顧客投資資産は前年比 14%増
- 期中平均ローン残高は前年比 1%増、前四半期比フラット、カード貸倒損失率 3.40%
- デビットおよびクレジットカード販売取扱高⁵は前年比 7%増
- モバイルカスタマー数⁶は前年比 8%増

CIB：コマーシャル&インベストメント・バンク（当期 ROE: 17%）

- 投資銀行業務の手数料収入は前年比 7%増、前四半期比 12%増、グローバル投資銀行業務の手数料収入は 2025 年第 2 四半期累計で 8.9%のウォレット・シェアで、業界トップ
- フィクスト・インカム・マーケットツ収益は前年比 14%増、エクイティ・マーケットツは前年比 15%増で、マーケットツ業務収益は前年比 15%増
- バンキング&ペイメントにおける期中平均ローン残高⁷は前年比 2%減、前四半期比は 2%増、期中平均顧客預金残高⁸は前年比 16%増、前四半期比 5%増

AWM: アセット&ウェルス・マネジメント（当期 ROE: 36%）

- 運用資産残高(AUM)⁹は前年比 18%増の 4.3 兆ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 7%増、前四半期比は 3%増、期中平均預金残高は前年比 9%増、前四半期比は 2%増

【ご参考】

特記事項

- 以下の項目は当期(2025 年第 2 四半期)の業績に含まれる。
 - ・ コーポレートにおいて、税額控除により 7.74 億ドルを認識 (EPS ¹⁰ 0.28 ドル増)

資本還元

- 普通株式配当 39 億ドル、1 株当たり 1.40 ドル
- 自社株買い純総額 ¹¹ は 71 億ドル
- 総還元性向 ^{11, 12} 71 %

盤石な財務基盤

- 1 株当たり純資産は前年比 10%増の 122.51 ドル、1 株当たり有形自己資本 ² は前年比 11%増の 103.40 ドル
- バーゼル III 普通株式等 Tier1 自己資本 ³ は 2,840 億ドル、同比率は標準的手法 ³ 15.0%、先進的手法 ³ 15.1%
- 全社ベース SLR(補完的レバレッジ比率)は 5.9%

お客様や地域社会のために

- 2025 年第 2 四半期累計における融資および資本調達 ¹³ 実施額は約 1.7 兆ドル
 - 個人のお客様向け融資 1,350 億ドル
 - 米国のスモール・ビジネス向け融資 170 億ドル
 - 法人および非米国政府機関向けに実施した融資・資本調達 1.5 兆ドル
 - 非営利団体および州、自治体、病院、大学を含む米国政府機関向けに実施した融資・資本調達は 370 億ドル

-
1. 記載されている増減率は、特に注記のない限り 2025 年第 2 四半期の前年同期比です。
 2. Non-GAAP 財務数値(管理ベースを含む)に関する注記は、英文リリース 6 ページを参照。追加注記は 7 ページを参照。
 3. 概算値。2025 年 1 月 1 日をもって、CECL 資本経過措置規定の効果については完全にフェーズアウトしました。追加情報については、2025 年 3 月 31 日に終了した四半期の Form 10 Q の四半期報告書の Note 21, 2024 年 Form 10 K の報告書の Note 27 の項目をご参照ください。
 4. 概算値。手元流動性には、①適格流動資産(「HQLA」)の期末残高が、流動性カバレッジ比率(「LCR」)規制の下で想定される所定のヘアカット(減額)分を除き、含まれています。HQLA は、以下で構成されています。a) LCR 規制が適用される JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーにおける HQLA、b)ノンバンク関係会社に移転できないため、JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーの LCR からは除外されている JP モルガン・チェース銀行における余剰流動性の一部として含まれる HQLA 適格証券。また手元流動性には②市場性のある有価証券(株式や債券)の期末残高も含まれています。一方、③連邦住宅貸付銀行(「FHLB」)からの借入余力や連邦準備銀行(FRB)の貸出は含まれていません。流動性リスク管理の項目に関する追加情報については 2025 年 3 月 31 日に終了した四半期の Form 10 Q の四半期報告書の 40~46 ページおよび 2024 年 Form 10 K の報告書の 108~115 ページをご参照ください。
 5. コマーシャルカードは除外
 6. 過去 90 日以内にモバイル・プラットフォームにログインしたユーザー数を指します。
 7. 2025 年 1 月 1 日に、56 億ドル相当の融資がグローバル・コーポレート・バンキングからフィクスト・インカム・マーケットツに移管されました。
 8. 顧客預金、その他外部に対する債務(「顧客預金」)は、ペイメント事業及びセキュリティーズ・サービス事業に関連するものです。
 9. 運用資産残高 (AUM)
 10. 1 株当たり利益(EPS)
 11. 従業員保有株分の影響を含みます。税および手数料は含みません。
 12. 過去 12 ヶ月 (LTM)
 13. 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指し、貸し付け、コミットメントライン、JP モルガン・チェースに融資を提供するか否かの決定権がある非確約の貸出融資枠の未使用分を含んでいます。融資や資本を提供した法人や米国外の政府機関は個人や個人の法人を含みます(AWM セグメントのグローバル・プライベートバンキングの顧客が主な対象)。